

和歌山北ボーイズ様 指導者、選手及び保護者の皆様

和歌山北ボーイズ様、関係者の皆様初めまして。岡と申します。

この度、中前監督とのご縁にて、和歌山北ボーイズ担当トレーナーに任命して頂きました。簡単な文面ではございますが、今後とも変わらぬご支援、並びに、ご理解ご協力のほど、よろしくお願い致します。

また個人的なご連絡につきましては、中前監督を通して段階的に進めさせていただければと思いますので、まずは略歴、自己紹介等にて、ご挨拶とさせて頂ければと思います。



自己紹介

- ・名前 … 岡 賢佑(オカ ケンスケ)
- ・年齢 … 27 歳(スポーツサポート歴…9 年目)
- ・学歴 … 三石小学校卒 (三石ベアーズ卒)
→紀見北中学校卒 (紀見北軟式野球部卒)
→和歌山県立橋本高校卒 (橋本高校野球部卒) 他
- ・資格 … 理学療法士、鍼灸学士、
American Heart Association 認定 BLS provider
American Heart Association 認定 ACLS provider
- ・研究活動 … 野球肘検診を通しての投球障害への取り組みと検討
下腿電気刺激に対する心拍出量の検討
前庭リハビリテーションの検討 他
- ・サポート経歴 … 2020 東京オリンピックメディカルトレーナー
西日本学童軟式野球大会メディカルチーム
全国中学校軟式野球大会メディカルチーム
全国夏季、春季、甲子園大会、和歌山予選大会メディカルチーム
高校野球連盟主催 スポーツ障害対策講座にて医療班統括
和歌山県野球肘検診運営(県内受診選手 1000 人以上) 他
- ・中学硬式野球におけるトレーナー実績 … 全国ジャイアンツカップベスト 8
全国タイガースカップ優勝 他
- ・コメント…自分は和歌山県橋本市出身で約 10 年、この地域で、野球に取り組ませて頂きました。その中で、野球肘、肩など、様々なケガで苦しみ、プレイできない期間が非常に長い選手でした。(トータル 2 年分ぐらいはプレイできてないのでは無いでしょうか?) 中前監督とのお話で「練習できない選手は上手にならない」と仰っておられましたが、まさに、その言葉通りであった選手でした。そんな選手生活が終わり、医療職についた私でしたが、ある選手と出会いました。僕の選手時代の様な選手でした。そして橋本市出身でした。そういった事に、地域に還元できていない事を痛感した自分は、和歌山県での活動を開始し、ケガを撲滅するべく「和歌山の野球選手を守る会」を立ち上げ、現在、和歌山の医師や医療職者と協働し NPO 設立に向けても活動させて頂いております。そんな和歌山、チームの宝である「選手」達の身体を全力でサポートさせて頂きます。
※ (次ページへ続く)



診断受けて、診断書まで書いてもらって顧問に見学しますと言ったら腿裏を触られて「こんなの肉離れじゃない」と言われ、「5日間あげるからそしたら合宿行けるかどうか決める」って強制的に言われました。4週間くらい安静って言われたけど1週間も安静にできなさそうです。

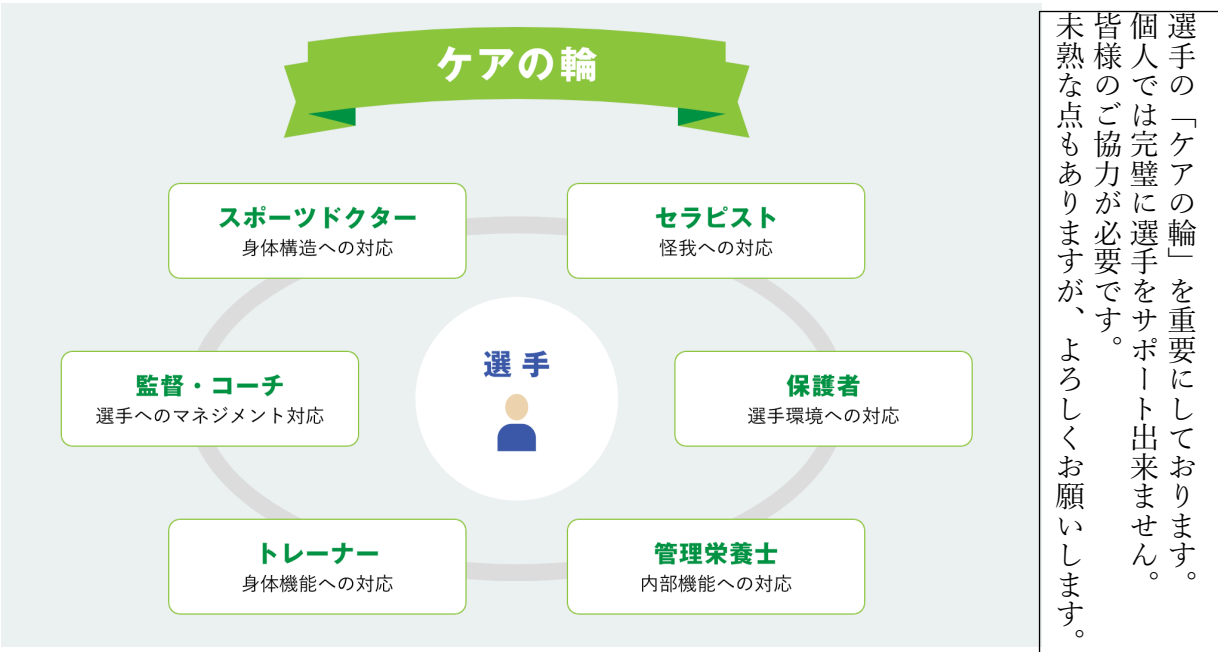
ある選手からの連絡です。これには衝撃でした。

	怪我をした選手	雨漏りした家
症状	 痛みや怪我	 びしょ濡れの床
対処法	マッサージ・電気治療	床を拭く
原因	カラダの使い方	屋根の修理

「良い」「選手」とは「練習」がしっかり出来ている選手である。とありましたが、「良い」「チーム」とは何でしょうか？また「強い」「チーム」とは何でしょうか？

個人的に一つの考えとしては、「そもそもケガしない」または「ケガをしてもすぐに競技に戻ってくる」事が前提にあると思います。毎年いつも良いチーム、強いチームを出してくる所は必ずそういった「選手の身体を判断できる、対処できる人間」が居ている事多いです。青信号、黄色信号、赤信号を判断できるので、事故（けが）が少ない訳です。事故（ケガ）があっても、対応が早いので、すぐリカバリー（回復）する訳です。逆に言うと、信号無視が多いチーム、選手は事故（ケガ）が多く成長できません。

その為には、選手自身が「判断できる運転手」になりきる事が重要です。よくトレーナーは「身体を鍛えさせる」と認識されやすいですが、個人的には選手が「身体の信号」を正しく学ぶために、チームトレーナーがいる。と考えております。



整体院 和恩
~wao~

現場では足りない選手は「治療院」を用意しております。
※完全抜粋につき、普通来院は一切不可
※ご興味ありましたら岡か中前監督まで